

公募シンポジウム

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-1	協同面接における三機関連携の在り方～子どものための聴取になるように～ 根ヶ山 裕子（名古屋市西部児童相談所）	26日(日) 9:00～ 10:30	C104	106
S-2	市区町村子ども家庭支援における組織内スーパーバイザーの役割について ～自主制作映画を通して考える～ 小泉 誠（調布市役所子ども政策課）	26日(日) 9:00～ 10:30	C105	108
S-3	発達特性をもつ未就学児の親支援を考えるー地域の保健師・保育士の立場からー 河崎 智子（千葉大学子どものこころの発達教育センター 保健師・看護師・公認心理師・特 任研究員）	26日(日) 9:00～ 10:30	C106	110
S-4	施設職員による利用者に対する不適切な関わりと予防及び対策について ー児童福祉現場における「転移」「逆転移」からの考察ー 小木曾 宏（東京経営短期大学こども教育学科）	26日(日) 9:00～ 10:30	C107	112
S-5	専門里親制度のこれまでとこれから 高橋 幸成（福音寮）	26日(日) 9:00～ 10:30	C108	114
S-6	児童相談所による子どもの意見表明権の保障～子どもの意見を「正當に尊重する」とは～ 浦 弘文（奈良市子どもセンター・全国子どもアドボカシー協議会）	26日(日) 9:00～ 10:30	C109	116
S-7	トラウマインフォームドケア（TIC）と修復的正義（RJ）にもとづく多分野での実践可能性 の検討 野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）	26日(日) 9:00～ 10:30	C204	118
S-8	児童家庭支援センターによる要保護児童の在宅支援の現状 ー要保護児童のモデル事例作成と支援計画についてー 武田 玲子（明治学院大学社会学部社会福祉学科）	26日(日) 9:00～ 10:30	C205	120
S-9	性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖（SATOCO）ー開設10年を経てー 木村 知子（にんしん SOS 滋賀）	26日(日) 9:00～ 10:30	F101	122
S-10	保護者に寄り添って解決する支援の取組み ～はじめての面接を支える～ 矢後 芳明（神奈川県大和綾瀬地域児童相談所）	26日(日) 9:00～ 10:30	F107	124
S-11	「こどもまんなか」にしたら見えてきた ちょっと新しい官民の繋がり 辻川 朱利（特定非営利活動法人子育て研究所 tocotoco）	26日(日) 9:00～ 10:30	F108	126
S-12	滋賀県児童養護施設等の子どもの権利擁護事業の概要と20年間の取組み 磯部 美也子（奈良大学）	26日(日) 9:00～ 10:30	F109	128
S-13	社会的養護における自立支援を考えるー「自立」の理念と実践の体系化を目指して 特定非営利活動法人ひだまりの丘（理事長 蛭沢 光）	26日(日) 9:00～ 10:30	F110	130
S-14	子どもの育ちとアディクション～家族まるごと支援のためにつながりを作る～ 塚本 真代（滋賀県大津・高島子ども家庭相談センター）	26日(日) 9:00～ 10:30	F111	132
S-15	配置型スクールソーシャルワーカーと「チーム学校」による子どもアドボカシーの意義 大塚 美和子（神戸学院大学）	26日(日) 9:00～ 10:30	F112	134
S-16	移行期のメンタルヘルスケアの現状と将来 日米比較と当事者ユースの視点から精神保健サービスの在り方を探る 粟津 美穂（NPO 法人インターナショナル・フォスターケア・アライアンス）	26日(日) 9:00～ 10:30	F201	136
S-17	支援者支援ー支援者のバーンアウトを予防するー 藤澤 陽子（国立武蔵野学院）	26日(日) 9:00～ 10:30	F202	138
S-18	特定妊婦支援における連携協働 ー大阪市産前産後母子支援事業（ダイヤモンドルーム）の取り組みからー 廣瀬 みどり（ポ・ドームダイヤモンドルーム）	26日(日) 9:00～ 10:30	F203	140
S-19	児童養護施設の若手職員にライフストーリーワークの重要性をどう伝えるか？ ー伴走型人材育成の試みー 山本 智佳央（三重県児童相談センター北勢児童相談所）	26日(日) 9:00～ 10:30	F204	142

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-20	中野区児童相談所 2年目の挑戦 子どもと家族を中心に ～子どもアドボケイト・一時保護所・心理支援・SoFS～ 中野区児童相談所（阪無 勇士、目白大学心理学部）	26日(日) 9:00～ 10:30	F205	144
S-21	臨床と研究の融合 - 脳科学的視点から子どもの発達を考える ～親子関係を支えるための様々な視点とアプローチ 水島 栄（北里大学 大学院 医療系研究科）	26日(日) 9:00～ 10:30	F206	146
S-22	子どもの最善の利益に資する多機関多職種連携システムのデザイン ——日本版司法面接ガイドラインとプロトコルに関するプロジェクトを中心に—— 飛田 桂（飛田桂法律事務所，子ども支援センターつなぐ）	26日(日) 10:45～ 12:15	C104	148
S-23	トラウマインフォームドケアを活用した支援者・組織の安心安全を高める実践 河野 洋子（大分県中央児童相談所）	26日(日) 10:45～ 12:15	C105	150
S-24	産前から夫婦そろっての親準備教育による児童虐待予防を考える ～夫婦が協力して子育てを行うという観点から～ 柴田 俊一（常葉大学）	26日(日) 10:45～ 12:15	C106	152
S-25	児童養護施設におけるトラウマインフォームドケアの実践と展望 山口 修平（児童養護施設 一宮学園）	26日(日) 10:45～ 12:15	C107	154
S-26	児童相談所および市町村におけるトリプルP導入の現状と親子関係構築支援の新しい展開に 向けて 柳川 敏彦（トリプルP ジャパン理事長、南紀医療福祉センター）	26日(日) 10:45～ 12:15	C108	156
S-27	協同面接と多機関連携の中でのちいさな「子どもの声」 ～児童相談所として子どもの声を聴きアドボケイトすること～ 鈴木 浩之（立正大学）	26日(日) 10:45～ 12:15	C109	158
S-28	地方自治体が設置する子どもの権利擁護機関における権利の具現化および課題 谷口 由希子（名古屋市立大学大学院人間文化研究科）	26日(日) 10:45～ 12:15	C204	160
S-29	ライフストーリーワークの実践において、過酷な事実をどう扱うのか 才村 眞理（大阪ライフストーリー研究会）	26日(日) 10:45～ 12:15	C205	162
S-30	日米・当事者ユースの視点から虐待対応および社会的養護の視座を問う 永野 咲（武蔵野大学／IFCA JAPAN）	26日(日) 10:45～ 12:15	F107	164
S-31	そこに居たくなる“雰囲気”とその再現可能性 ～私たちの日常の取り組みから～ 加賀谷 悠（認定NPOカタリバ）	26日(日) 10:45～ 12:15	F108	166
S-32	社会的養護において子どもが感じる本当の安心とは何か ～現場の養育者ができることを一つ一つ考える～ 関根 祥子（国立武蔵野学院）	26日(日) 10:45～ 12:15	F109	168
S-33	子ども一人ひとりに適した施設環境について考えるⅡ：HOME評価尺度による子どもの権 利擁護の可能性 児童養護施設グイン・ホーム（西森 啓祐）	26日(日) 10:45～ 12:15	F110	170
S-34	子ども虐待予防領域へ対話的アプローチを 門間 晶子（名古屋市立大学大学院 看護学研究科）	26日(日) 10:45～ 12:15	F111	172
S-35	虐待の「連鎖」を断ち切るデートDV防止～被害・加害当事者に寄り添う支援の在り方 阿部 真紀（認定NPO法人エンパワメントかながわ理事長）	26日(日) 10:45～ 12:15	F112	174
S-36	医療現場における多様な育児状況と価値観への支援に向けた課題 川口 めぐみ（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター）	26日(日) 10:45～ 12:15	F201	176
S-37	総合知による子ども支援の仕組みづくり：チーム学校を形成するスクリーニングシステム（発 見から支援まで） 山野 則子（大阪公立大学現代システム科学研究科）	26日(日) 10:45～ 12:15	F202	178
S-38	児童相談所一時保護所の子どもと支援 鈴木 勲（名寄市立大学）	26日(日) 10:45～ 12:15	F203	180

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-39	児童自立支援施設におけるトラウマインフォームドケアの実践 ～子ども・職員・施設の安全のために 奥野 美和子（大阪府立子どもライフサポートセンター） 浅野 恭子（甲南女子大学）	26日(日) 10:45～ 12:15	F204	182
S-40	特別区の児童相談所及び子ども家庭支援センターの研修等からみえる人材育成のバージョン アップ 川並 利治（金沢星稜大学）	26日(日) 10:45～ 12:15	F205	184
S-41	アディクション（依存症）を抱える養育者とその子ども達を支援するための“介入ツール” を用いた取り組み 田淵 賀裕（児童心理治療施設 横浜いずみ学園）	26日(日) 10:45～ 12:15	F206	186
S-42	非行の課題を抱える子どもの支援 その2 ～児童福祉と少年司法との協働のあり方を考える～ 一宮 里枝子（福岡県福岡児童相談所）	26日(日) 13:30～ 15:00	C104	188
S-43	こ家センを進化のチャンスに！予防に向けた地域全体での家族丸ごと支援に向けたブレイ ク・スルー 伊藤 徳馬（茅ヶ崎市地域福祉課）	26日(日) 13:30～ 15:00	C105	190
S-44	母子生活支援施設の親子関係構築支援・再構築支援について ～母子生活支援施設の新たな活用に向けた挑戦～ 大神 嘉（こどもと女性包括支援センター halu）	26日(日) 13:30～ 15:00	C106	192
S-45	ACE を経験した子どもの理解とアドボカシー ～児童福祉におけるアドボカシー活動の専門性の確立にむけて～ 石田 賀奈子（立命館大学）	26日(日) 13:30～ 15:00	C107	195
S-46	里親制度の国際比較～日本への示唆を考える～ 福田 公教（関西大学）	26日(日) 13:30～ 15:00	C108	197
S-47	第三者によるこどもの意見聴取と意見表明支援～明石市児童相談所の取り組みとその評価～ 佐野 洋子（明石市）	26日(日) 13:30～ 15:00	C109	199
S-48	子ども虐待対応における支援者の専門性について ～保健師、保育士、教師、児童指導員の専門性～ 増沢 高（子どもの虹情報研修センター）	26日(日) 13:30～ 15:00	C204	201
S-49	児童家庭支援センターやNPO 等によるヤングケアラー支援の困難性と可能性 橋本 達昌（全国児童家庭支援センター協議会）	26日(日) 13:30～ 15:00	C205	203
S-50	改めて「記録」とその活用のあり方を考える～子どもまんなか社会を目指して～ 泉田 信行（国立社会保障・人口問題研究所）	26日(日) 13:30～ 15:00	F107	205
S-51	里親家庭の実子への支援と今後の展望について 山本 真知子（大妻女子大学人間関係学部）	26日(日) 13:30～ 15:00	F108	207
S-52	社会的養育におけるドリフト事象の実態とケア指標の作成に向けて 山田 勝美（山梨県立大学）	26日(日) 13:30～ 15:00	F109	209
S-53	あたらしい一時保護所の先頭ランナーとしての特別区一時保護所実践 茂木 健司（江戸川区児童相談所）	26日(日) 13:30～ 15:00	F110	211
S-54	児童相談所における付添犬による子どもの支援 山本 真理子（帝京科学大学）	26日(日) 13:30～ 15:00	F111	213
S-55	子ども虐待予防教育の展望 学校現場における現状と課題 宮里 慶子（千里金蘭大学 認定NPO 法人児童虐待防止協会）	26日(日) 13:30～ 15:00	F112	215
S-56	小児医療における虐待にどのように気づき、支え、そしてどのようにつなげるか ～トラウマインフォームドアプローチ・患者を中心とした家族支援の展開の在り方を検討する～ 田中 恭子（国立成育医療研究センターこころの診療部）	26日(日) 13:30～ 15:00	F201	217
S-57	子どもアドボカシーが子どもやユースに与えるインパクトについて 菊池 幸工（NPO 法人全国子どもアドボカシー協議会）	26日(日) 13:30～ 15:00	F202	219

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-58	一歩先取りした中核市等の児童相談所一時保護所 ～原点から今と未来を探る一時保護所～ 井上 景（長野大学 社会福祉学部）	26日(日) 13:30～ 15:00	F203	221
S-59	社会的養護施設における法の使用について 横浜いずみ学園（井上 真・尾谷 健）	26日(日) 13:30～ 15:00	F204	223
S-60	児童相談所におけるスーパーバイズシステムを「学習する組織」で考える ～よりよい組織づくりおよび人材育成をめざしたボトムアップからの工夫～ 北谷 多樹子（堺市子ども相談所）	26日(日) 13:30～ 15:00	F205	225
S-61	子ども虐待防止を目指した地域拠点型多胎育児支援活動 ～民間団体による妊娠期からの取り組み～ 服部 律子（神戸女子大学看護学部）	26日(日) 13:30～ 15:00	F206	227
S-62	こども家庭福祉領域における福祉職と法律家のより良い協働 ～ソーシャルワーカーと弁護士の協働事例からの考察～ 安井 飛鳥（弁護士とソーシャルワーカーの協働を考える会）	26日(日) 15:15～ 16:45	C104	229
S-63	飯塚市こども家庭センター cocosumo の目指すべき支援の姿 ～死亡事例検証と提言を受けた取組を通して～ 田中 祥一朗（飯塚病院（兼務：飯塚市福祉部子育て支援課））	26日(日) 15:15～ 16:45	C105	231
S-64	東京都予防的支援推進とうきょうモデル事業における自治体の取り組み ～アーリーパートナーシップモデルの実装～ 馬場 香里（東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター）	26日(日) 15:15～ 16:45	C106	233
S-65	DV 加害者の行動と強圧的コントロール理解に基づく子ども福祉実践 ～加害親への面接時の留意点を中心に～ 増井 香名子（日本福祉大学）	26日(日) 15:15～ 16:45	C107	235
S-66	地域の中で『心配な』家庭を支援するためのケースマネジメントとサポートプランを考える 畠山 由佳子（神戸女子短期大学）	26日(日) 15:15～ 16:45	C108	237
S-67	子どもの声を聴き支援に反映するには？ 大阪・熊本・奈良・三重のアドボケイト・児童相談所等との役割と協働 榮留 里美（大分大学 福祉健康科学部）	26日(日) 15:15～ 16:45	C109	239
S-68	「一時保護の司法審査」～具体的運用のシミュレーションおよび問題点 藤田 香織（日本弁護士連合会）	26日(日) 15:15～ 16:45	C203	241
S-69	子どもの安心基地を保障するために支援者ができること ～子どもの声とニーズと共にある実践を実現するために 宮口 智恵（認定NPO法人チャイルド・リソース・センター）	26日(日) 15:15～ 16:45	C204	243
S-70	子どもたちの育ちと社会的養護の課題 ～子どものニーズ、アドボカシーを基盤にした実践の方向～ 櫻谷 眞理子（滋賀県教育委員会）	26日(日) 15:15～ 16:45	C205	245
S-71	子どものためのワンストップセンター（Children's Advocacy Center）の実践と展望 田上 幸治（神奈川県立こども医療センター NPO法人子ども支援センターつなぐ）	26日(日) 15:15～ 16:45	F101	247
S-72	社会は児童相談所をどう支えていけるか？～電子コミックによる啓発の試み～ 綿村 英一郎（大阪大学）	26日(日) 15:15～ 16:45	F107	249
S-73	里親ショートステイを活用した要支援家庭への家族支援の実践 松崎 佳子（特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN） 橋本 愛美（福岡市子ども家庭支援センター「SOS子どもの村」）	26日(日) 15:15～ 16:45	F108	251
S-74	市町村・児童家庭支援センター・児童相談所の委託関係をめぐって ～「地域養育システム構築」をめざして～ 小池 由佳（新潟県立大学）	26日(日) 15:15～ 16:45	F109	253
S-75	児童相談所における性問題行動治療教育グループの試み 駒村 樹里（東京都多摩児童相談所）	26日(日) 15:15～ 16:45	F110	255
S-76	裁裁判記録等を用いた児童虐待死亡事例の再検証と事例研究による人材育成について 齋藤 知子（帝京平成大学）	26日(日) 15:15～ 16:45	F111	257
S-77	“教育”の名のもとに行われる子どもへの人権侵害行為 ～保護者によるエデュケーショナル・マルチトリートメントの生起・維持メカニズムの解明（2） 大西 将史（福井大学 学術研究院教育・人文社会系部門教員養成領域）	26日(日) 15:15～ 16:45	F112	259

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-78	地域子育て支援における病院看護師の役割 ～CPT 看護師って、知ってますか？～ 木下 あゆみ（四国こどもとおとなの医療センター）	26日(日) 15:15～ 16:45	F201	261
S-79	教育現場における心理職の虐待対応の現状と課題 飯田 香織（大阪国際大学）	26日(日) 15:15～ 16:45	F202	263
S-80	MCG の実践「このままの私で行っていく」 ～30年の歩みを通して見えてきたグループの力と課題～ 松下 清美（社会福祉法人子どもの虐待防止センター）	26日(日) 15:15～ 16:45	F203	265
S-81	困難を抱える子どもと家族を支えるラップアラウンド ー当事者主体で支援プランを作成するためにー 久保 樹里（日本福祉大学社会福祉学部）	26日(日) 15:15～ 16:45	F204	267
S-82	どこまでする？『こどもファースト』～模索と工夫で取組んだ明石こどもセンターの軌跡～ 秋末 珠実（明石こどもセンター）	26日(日) 15:15～ 16:45	F205	269
S-83	虐待ハイリスクの子どもを地域で、どう見守って、子育てを支援するか ～多職種でうまくいったこと、いかなかったこと、共有してみませんか～ 馬場 恵子（滋賀県立小児保健医療センター 小児救急看護認定看護師） 長屋 勝之（岐阜県総合医療センター 小児救急看護認定看護師）	26日(日) 15:15～ 16:45	F206	271